

事業評価書

補助事業名	伊江村立保育所運営事業						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村地内						
補助事業の成果の目標	<p>本村の保育所は、村内に居住している就学前児童に対して保育活動を実施し、子育て世代の定住を促進するため保育サービスを充実させている。</p> <p>また、近年の児童数増加に伴い、保育士を増員するなど最善な保育を実施できるよう取り組んでいる。</p> <p>本事業を実施し、今後も安定的な保育所運営を行うことで、子育て世代が利用しやすい保育環境の維持を図る。</p>						
補助事業の内容	保育士の給与 19名						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		平成30年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	39,684,640					39,684,640
	交付金額	20,000,000					20,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【安定的な保育環境の維持についての成果及び評価】</p> <p>1) 事業実施期間中の保育活動日数を確認した結果、安定的な保育運営が図られたことから本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p>2) 事業実施期間中の保育を利用した保護者へアンケート調査を行った結果、保育所運営が円滑に実施され、保育の質や保護者の就労支援も向上しているとの結果が同え、満足度も高かったことから、本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施】</p> <p>1) 村ホームページ及び村広報誌2019年7月号に掲載。</p> <p>2) 保育所利用児童保護者へ園だより等により周知。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も安定的な保育運営を実施し、子育て世代の定住促進のため、保育サービスの充実を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	特産品加工施設空調改修工事						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村字東江前地内						
補助事業の成果の目標	<p>特産品加工施設は、村内で生産された農産物（落花生・冬瓜・島らっきょう・紅いも・牛肉）などを活用して、村を代表する加工商品を製造し、産業の振興に寄与する施設として建設され、約15年が経過している。</p> <p>そのため、経年劣化による空調設備の不具合が発生しており、各作業室内の適正温度が保てず、商品の製造にも支障をきたしている。</p> <p>このことから、本事業で空調設備の改修工事を実施し、作業室内の温度管理を一定に保ち、安心・安全な施設環境を確保することで、本村の産業振興に寄与するものである。</p>						
補助事業の内容	空調設備改修工事 S = 408.26㎡						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		平成30年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	9,514,800					9,514,800
	交付金額	8,000,000					8,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【安心・安全な施設環境を確保することについての成果及び評価について】</p> <p>改修後、各作業室内が適正温度に保たれていることを確認し、安心・安全な施設環境を確保することができたことから、本事業による成果を得たものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の状況】</p> <p>1) 村ホームページ及び村広報誌2019年7月号に掲載。</p> <p>2) 空調設備機器へ「平成30年度沖縄防衛局調整交付金事業」と記載。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も定期的に空調機器の保守・点検を行い、適切な施設管理に取り組む。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	伊江村立幼稚園増改築整備工事						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村地内						
補助事業の成果の目標	<p>本村においては、多様化する教育ニーズに対応するため、教育振興計画を推進しているところである。</p> <p>現在、村内の幼稚園においては1年保育を行っているところであるが、地域住民から2年保育の実施を求められている状況である。</p> <p>このことから、本事業により教室数を追加して整備し、2年保育の実施を可能とすることで、適切な教育環境の整備を図る。</p> <p>(参考指標)</p> <p>平成31年度 登録学級数          伊江幼稚園 2学級 (平成29年度1学級)          西幼稚園 2学級 (平成29年度1学級)</p>						
補助事業の内容	<p>実施設計 一式</p> <p>整備工事</p> <p>伊江幼稚園 S = 123.64㎡</p> <p>西幼稚園 S = 174.33㎡</p>						
補助事業の始期及び終期	平成29年度～平成30年度						
事業費及び交付金額		29年度	30年度				計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	8,650,800	113,486,400				122,137,200
	交付金額	6,000,000	83,445,000				89,445,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【2年保育の実施を可能とすることについての成果及び評価】</b></p> <p>整備後、両幼稚園の登録学級数が2学級になったことで、2年保育の実施が可能となり、適切な教育環境の整備が図られたことから、本事業による成果が得られたものと評価した。</p> <p><b>【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 村ホームページ及び村広報誌2019年7月号に掲載。</li> <li>2) 地元区長会にて計画内容を周知。</li> <li>3) 工事期間中の工事看板に記載。</li> </ol>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも適切な教育環境の推進と施設管理に取り組むことで、多様化する教育ニーズへの対応を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	伊江村畜産総合施設整備計画策定業務						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村字西江前地内						
補助事業の成果の目標	<p>本村の畜産業は村の基幹産業として発展してきたが、近年の生産者の高齢化や離農・廃業等における後継者や担い手農家の不足が課題であり、高齢農家の負担軽減及び新規担い手の確保を図る必要がある。</p> <p>そのため本業務では、将来を見据えた畜産振興計画及び畜産総合施設整備計画を策定し、畜産事業の振興を図る。</p>						
補助事業の内容	基本構想策定 一式						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		平成30年度					計
	事業費	10,951,000	円	円	円	円	円
	交付金額	6,400,000					6,400,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【畜産業の振興についての成果及び評価】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 伊江村肉用牛目標飼養頭数計画書</li> <li>2) 施設の機能・規模決定</li> <li>3) 伊江村畜産総合施設の概略設計書</li> <li>4) 伊江村畜産総合施設パース図</li> </ol> <p>上記成果品を確認した結果、本村畜産業の振興に向けた内容となっており、今後の施設整備へ向けての準備を行うことができたため、本事業における成果は得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 村ホームページ及び村広報誌2019年7月号に掲載。</li> <li>2) 成果品(冊子等)へ「平成30年度沖縄防衛局調整交付金事業」と記載。</li> <li>3) 牛セリ市開設時等においてポスター等を貼付掲載。</li> </ol>						
事業の改善措置及び今後の対応	整備計画に基づき、令和元年度～令和三年度(事業実施期間三年)に畜産総合施設整備事業の実施を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事 業 評 価 書

補助事業名	伊江村総合運動公園野球場備品購入						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村字東江前地内						
補助事業の成果の目標	<p>伊江村総合運動公園には、多目的屋内運動場やアスレチック広場が整備されており、村民のスポーツレクリエーションや健康増進の場として利用されている。</p> <p>現在、建設中の野球場は平成31年度に供用開始予定で、子どもから大人まで、幅広い世代が利用できるよう整備中である。</p> <p>このことから、本事業により野球場備品を購入することで、充実したスポーツ環境を確保し、利用者の健康増進及びスポーツ振興に寄与する。</p>						
補助事業の内容	備品購入 スポーツ備品 一式 室内備品 一式						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		平成30年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	35,359,200					35,359,200
	交付金額	28,100,000					28,100,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【利用者の健康増進及びスポーツ振興への成果及び評価について】 整備後、施設利用者に対してアンケート調査を実施した結果、安全で円滑な野球活動及び健康増進に繋がり、スポーツ環境の充実が図られたことから、本事業による成果は得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の状況】 1) 村ホームページ及び村広報誌2019年7月号に掲載。 2) 備品に「平成30年度沖縄防衛局調整交付金事業」と記載。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	備品の管理を徹底し、安全な野球活動運営等を実施し、利用者のスポーツ環境の充実に取り組む。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	公共用備品購入						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村字川平地内						
補助事業の成果の目標	<p>本村では、伊江島一周マラソン大会やゆり祭り、村内地域行事など多くのイベントが開催されており、希望者へ備品の貸出を行っている。現況イベント時、備品数が足りておらず、イベント開催に支障をきたしている状況である。また、利用者からも貸出備品の充実を求められているところである。</p> <p>本事業を実施することにより、利用者が快適に過ごせる環境を整備し、地域全体の観光振興の向上に寄与する。</p>						
補助事業の内容	<p>パワーテント1張 屋外用テーブル100台</p>						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		平成30年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	4,557,600					4,557,600
	交付金額	4,200,000					4,200,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【地域全体の観光振興の向上について成果及び評価】 備品購入後に開催されたイベントにおいて、利用者へアンケート調査を行った結果、地域の観光振興（イベント等）の向上が図られたとの意見が多く寄せられ、また満足度も非常に高かったことから、本事業による成果は得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況について以下のとおり実施】 1）村ホームページ及び村広報誌2019年7月号に掲載。 2）公共用備品へ「平成30年度沖縄防衛局調整交付金事業」と記載。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も定期的に購入備品の点検・保守を行うことで、適切な備品管理に取り組む。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	東江上集落道21号道路整備工事						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村字東江上地内						
補助事業の成果の目標	<p>東江上集落道21号道路は、地域住民の生活道路として利用されているが幅員が狭く未舗装の為、利用者の安全が確保できない状況であり、地域住民からも整備が要望されている。</p> <p>このことから、本事業により当該道路を整備することで、地域住民が安全に利用できる生活道路として環境改善を図る。</p>						
補助事業の内容	<p>実施設計 一式                  道路整備工事 L=199.767m W=5.0m</p>						
補助事業の始期及び終期	平成29年度～平成30年度						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度				計
	事業費	8,640,000円	25,557,000円				34,197,000円
	交付金額	6,800,000	24,200,000				31,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【安全で円滑な交通の確保についての成果及び評価】                  利用者及び地域住民へアンケート調査を行った結果、整備後の道路の利用について、快適だったとの意見が多く寄せられたことから、本事業による成果を得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の状況】                  1) 村ホームページ及び村広報誌2019年7月号に掲載。                  2) 地元区長会にて計画内容を周知。                  3) 工事期間中の工事看板に記載。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も安心・安全な道路交通を確保するため、現状を確認し、問題個所があれば随時対策していく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事業評価書

補助事業名	伊江村防災行政無線デジタル化整備工事実施設計					
補助事業者名	伊江村長					
実施場所	伊江村地内					
補助事業の成果の目標	<p>本村が運用している防災行政無線システムは、平成10年に導入され、村民に対し行政情報や災害発生時における防災情報等を伝える手段として活用している。しかし、整備後20年が経過し、老朽化及び電波規格が旧型であるため、新規格に適合したシステム整備が必要となった。</p> <p>このことから、本事業により当該システムのデジタル化を行うことで、災害等情報伝達手段を確保し、村民の生活環境の維持に寄与する。</p>					
補助事業の内容	実施設計業務 一式					
補助事業の始期及び終期	平成30年度					
事業費及び交付金額		平成30年度				計
		円	円	円	円	円
	事業費	7,884,000				7,884,000
	交付金額	7,884,000				7,884,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【災害等情報伝達手段を確保することについての成果及び評価】</b>          納品された設計書類を確認した結果、新規格に適合したシステム運用に資する内容の設計となっており、今後の整備工事に向けた準備を行うことができたため、本事業の成果が得られたものと評価した。</p> <p><b>【地域住民への周知の状況】</b>          1) 村ホームページ及び村広報誌2019年7月号に掲載。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後の対応については、本事業で納品された設計書類を基に事業費の確保や整備工事を実施していく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

## 事業評価書

補助事業名	伊江中学校学習用備品購入						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村字西江上地内						
補助事業の成果の目標	<p>本村においては、学校教育情報化推進計画に基づき、コンピュータや情報通信ネットワークを活用し、情報機器の基本的操作及び学習内容の理解を深めるため、情報教育の推進を図っている。</p> <p>現在、学習用端末を導入しているのは小学校のみであるため、継続した情報教育の提供ができていない状況である。</p> <p>このことから、本事業により中学校にも学習用端末を導入することで、情報教育の推進を図り、生徒の学習活動の充実を図る。</p>						
補助事業の内容	備品購入 パソコン41台 電子黒板8台 サーバー一式等						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		平成30年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	32,929,200					32,929,200
	交付金額	25,000,000					25,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【情報教育の推進を図ることについての成果及び評価】</p> <p>整備後、端末の利用状況により継続した情報教育の提供が実施できたことを確認し、学習用端末の導入により、情報教育の推進及び生徒の学習活動の充実が図られたことから、本事業による成果は得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の状況】</p> <p>1) 村ホームページ及び村広報誌2019年7月号に掲載。</p> <p>2) 購入機器に「平成30年度沖縄防衛局調整交付金事業」と記載。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も備品管理を徹底し、情報教育の推進と生徒の学習活動の充実に取り組む。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	伊江村立診療所透析センター維持運営事業						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村字川平地内（伊江村立診療所透析センター）						
補助事業の成果の目標	<p>伊江村立診療所は、本村唯一の医療機関であり、これまで村内における医療・保健の提供及び健康の維持・増進を図ってきたが、本診療所では透析患者に対する設備が整っておらず、透析患者は、透析を受けるためやむを得ず村外の医療機関への受診となるため、度重なるフェリー移動を余儀なくされていた。</p> <p>今般、本村の医療の充実化を図り、平成26年度に人工透析センターを開設し、透析患者の負担軽減を図ったものである。</p> <p>このことから、本事業により伊江村立診療所透析センターの運営事業を行うことで、安定的な維持運営を図り、地域住民の医療環境の改善に寄与するものである。</p>						
補助事業の内容	伊江村立診療所透析センター維持運営事業						
補助事業の始期及び終期	平成26年度～令和6年度						
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	基金 造成額	交付金	30,000,000	35,000,000	35,000,000	30,000,000	35,000,000
		市町村費	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		計	30,000,000	35,000,000	35,000,000	30,000,000	35,000,000
	基金処分額	0	27,816,000	31,625,000	34,955,000	35,000,000	
基金残額	30,000,000	37,184,000	40,559,000	35,604,000	35,604,000		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【透析患者の負担軽減についての成果及び評価】</b>            年間の施設の稼働日数を確認した結果、人工透析センターの安定的な維持運営が図られ、人工透析利用者の負担軽減につながったことから、本事業による成果は得られたものと評価した。</p> <p><b>【地域住民への周知の状況】</b>            1) 村ホームページ及び村広報誌2019年7月号に掲載。            2) 地元区長会にて計画内容を周知。</p>						
事業の改善策及び今後の対応	今後も安定した医療の提供を確保し、透析患者の負担軽減及び安定した伊江村立診療所透析センターの維持運営を行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	伊江村環境衛生施設維持運営事業(基金)								
補助事業者名	伊江村長								
実施場所	伊江村立聖苑、伊江村E&Cセンター 伊江村産業廃棄物最終処分場								
補助事業の成果の目標	本村では環境衛生施設として、ゴミ処理施設であるE&Cセンター及び産業廃棄物最終処分場と、火葬場である聖苑が設置されており、村内の適切な自然環境及び生活環境を支えている。今般、ゴミ処理施設においては、ゴミの減量化・資源化の促進が求められている状況であり、本村としては、本年度よりリサイクル業務の強化に取り組んでいる。このことから、本事業により安定的な施設の運営維持を図り、地域住民の生活環境の改善に寄与する。								
補助事業の内容	環境衛生施設の維持運営								
補助事業の始期及び終期	平成24年度から令和4年度まで								
事業費及び交付金額	基金造成額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
		交付金	112,700,000	4,300,000	36,300,000	4,500,000	0	4,500,000	4,500,000
		市町村費	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	計	112,700,000	4,300,000	36,300,000	4,500,000	0	4,500,000	4,500,000	
	基金処分額	0	13,500,000	14,000,000	13,200,000	18,700,000	18,700,000	20,000,000	
基金残額	112,700,000	103,500,000	125,800,000	117,100,000	98,400,000	84,200,000	68,700,000		
環境衛生施設の稼働日数	伊江村立聖苑		伊江村E&Cセンター			伊江村産業廃棄物最終処分場			
	51日 火葬(51)		焼却炉:202日 資源化施設:134日			309日			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【地域住民の生活環境の改善についての成果及び評価】</p> <p>焼却炉の稼働については、台風及び落雷等による被害があり稼働に時間を要したため、例年を下回る稼働であったが聖苑及び最終処分場については平年並み、前年度より強化している資源化施設においては前年度以上の稼働があり、本事業により生活環境の改善を図ることができたことから本事業の成果を得たものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の状況】</p> <p>1) 村ホームページ及び村広報誌2019年7月号に掲載。 2) 地元区長会にて計画内容を周知。</p>								
事業の改善策及び今後の対応	今後も適切な施設の運営維持を行うことにより、引き続き地域住民の生活環境の改善に努める。								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

## 事業評価書

補助事業名	伊江村総合運動公園施設維持運営事業					
補助事業者名	伊江村長					
実施場所	伊江村字東江前地内（多目的屋内運動場）					
補助事業の成果の目標	<p>本村において、地域住民等の健康増進及びスポーツ振興を図る活動拠点として、多目的屋内運動場、野球場及び陸上競技場（以降「伊江村総合運動公園施設」という）の整備を進めており、その内多目的屋内運動場については、平成28年4月から供用開始をしている。</p> <p>このことから、本事業により伊江村総合運動公園施設の安定的な維持運営を確保し、地域住民等の健康増進及びスポーツ振興を推進することによって、地域住民等の福祉の向上を図るものである。</p>					
補助事業の内容	伊江村総合運動公園施設維持管理運営に係る人件費、光熱費					
補助事業の始期及び終期	平成27年度から令和7年度まで					
事業費及び交付金額		27年度	28年度	29年度	30年度	
		円	円	円	円	円
	基金 造成額	4,700,000	4,700,000	4,700,000	4,700,000	
	交付金	4,700,000	4,700,000	4,700,000	4,700,000	
	市町村費等	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	計	4,700,000	4,700,000	4,700,000	4,700,000	
	基金処分額	0	4,170,000	4,700,000	4,700,000	
	基金残額	4,700,000	5,230,000	5,230,000	5,230,000	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【地域住民等の福祉の向上を図ることについての成果及び評価】 伊江村総合運動公園施設利用者へアンケート調査を実施した結果、地域住民等の健康増進及び世代間のスポーツ交流の推進により、福祉の向上が図られた。また、満足度も非常に高かったことから、本事業による成果は得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の状況】 1) 村ホームページ及び村広報誌2019年7月号に掲載。 2) 地元区長会にて計画内容を周知。</p>					
事業の改善策及び今後の対応	今後も適切な施設管理に取り組むとともに、施設の利用促進に取り組む。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	伊江村救急患者搬送船運営事業						
補助事業者名	伊江村長						
実施場所	伊江村地内及び本部町水納島地内						
補助事業の成果の目標	<p>本村では、内閣府補助により、救急患者搬送や沿岸区域での水難事故等の救助活動、災害時の物資供給活動等を行うための「伊江村救急患者搬送船」を平成26年度に整備完了し、本村内の救急医療及び危機管理体制の充実化を図ることとし、平成27年度から供用開始している。本事業により当該救急患者搬送船の運営事業を行うことで、今後の安定的な維持運営を図る。</p> <p>(参考指標)                  間接的指標：救急患者搬送等に係る所要時間                  通報から出動まで 約10分（平成26年度 約15分）                  伊江港から渡久地港まで 約15分（平成26年度 約23分）</p>						
補助事業の内容	伊江村救急患者搬送船運営費						
補助事業の始期及び終期	平成26年度から令和8年度						
事業費及び交付金額			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	基金 造成額	交付金	円 8,000,000	円 8,000,000	円 8,000,000	円 8,000,000	円 8,000,000
		市町村費	0	0	0	0	0
		その他	0	0	51,855	38,800	121,165
		計	8,000,000	8,000,000	8,051,855	8,038,800	8,121,165
		基金処分類	0	5,582,182	7,400,000	7,461,000	7,300,000
		基金残額	8,000,000	10,417,818	11,069,673	11,647,473	12,468,638
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【救急患者の負担軽減についての成果及び評価】</b>                  平成30年度搬送件数40件                  本島までフェリーで30分かかる航路を平均時間約15分で搬送している。本事業により、救急患者搬送船の安定的な維持運営を行うことができ、地域住民への救急医療の向上を図ることができたことから、本事業の成果を得たものと評価した。</p> <p><b>【地域住民への周知の状況】</b>                  1) 村ホームページ及び村広報誌2019年7月号に掲載。                  2) 地元区長会にて計画内容を周知。</p>						
事業の改善策及び今後の対応	今後も適切な施設運営・管理に取り組むとともに、年に数回消防機関と連携した搬送訓練を実施し、円滑な搬送が行えるよう取り組んでいく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						